

スカパーJSATグループ
2015年度 2Q決算説明会

2015年11月5日(木)

株式会社スカパーJSATホールディングス

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- 顧客情報のセキュリティ及び顧客情報管理システムの障害に関するリスク
- 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 衛星への保険付保に関するリスク

《有料多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- 加入者獲得、維持に関するリスク
- 放送事業者に関するリスク
- ICカードのセキュリティ等に関するリスク

第2四半期連結決算概要

損益概要

- 標準画質サービス終了による影響で、前年同期比、減収減益。
- 計画通りに推移しており、通期予想に変更はございません。

(単位:百万円)

	FY2014 2Q累計	FY2015 2Q累計	増減率	通期予想 進捗率	FY2015 通期予想
営業収益	82,381	81,756	△0.8%	48.7%	168,000
営業利益	12,830	10,871	△15.3%	47.3%	23,000
経常利益	12,761	10,884	△14.7%	48.4%	22,500
親会社株主に帰属 する四半期純利益	10,056	7,035	△30.0%	48.5%	14,500
EBITDA *1	25,212	22,127	△12.2%	—	—

*1. EBITDA = 当期純利益 + 税金費用 + 支払利息 + 減価償却費

連結業績の推移(FY2014 1Q ~ FY2015 2Q)

(単位:百万円)

	FY2014				FY2015	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業収益	42,239	40,141	40,187	40,725	41,122	40,633
営業利益	7,015	5,814	4,761	2,034	5,855	5,015
経常利益	7,067	5,694	4,820	1,999	5,792	5,091
親会社株主に帰属 する四半期純利益	6,587	3,469	2,880	579	3,788	3,246
EBITDA *1	13,698	11,514	10,567	7,843	11,343	10,783

*1. EBITDA = 当期純利益 + 税金費用 + 支払利息 + 減価償却費

セグメント別連結業績の推移(FY2014 1Q ~ FY2015 2Q)

(単位:百万円)

	FY2014				FY2015	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業収益	42,239	40,141	40,187	40,725	41,122	40,633
有料多チャンネル事業	31,675	30,456	30,338	29,773	30,904	30,636
宇宙・衛星事業	13,954	12,681	12,824	13,927	13,320	13,098
消去又は全社	△3,390	△2,996	△2,975	△2,975	△3,102	△3,101
営業利益	7,015	5,814	4,761	2,034	5,855	5,015
有料多チャンネル事業	1,881	1,930	698	△2,076	1,307	772
宇宙・衛星事業	5,274	4,029	4,258	4,266	4,714	4,407
消去又は全社	△139	△144	△195	△154	△166	△164

有料多チャンネル事業の主要指標(*)

	FY2014 2Q累計	FY2015 2Q累計	FY2015 通期目標
新規加入件数(万件)	19.1	22.6	48.2
純増数(万件)	△27.4	2.0	7.5
累計加入件数(万件)	344.2	348.2	353.7
加入者月額支払単価(¥)	3,311	3,373	-
ARPU(¥)	2,214	2,223	-
SAC単価(¥)	34,346	35,255	-

*スカパー！、スカパー！プレミアムサービス、スカパー！プレミアムサービス光の合計値

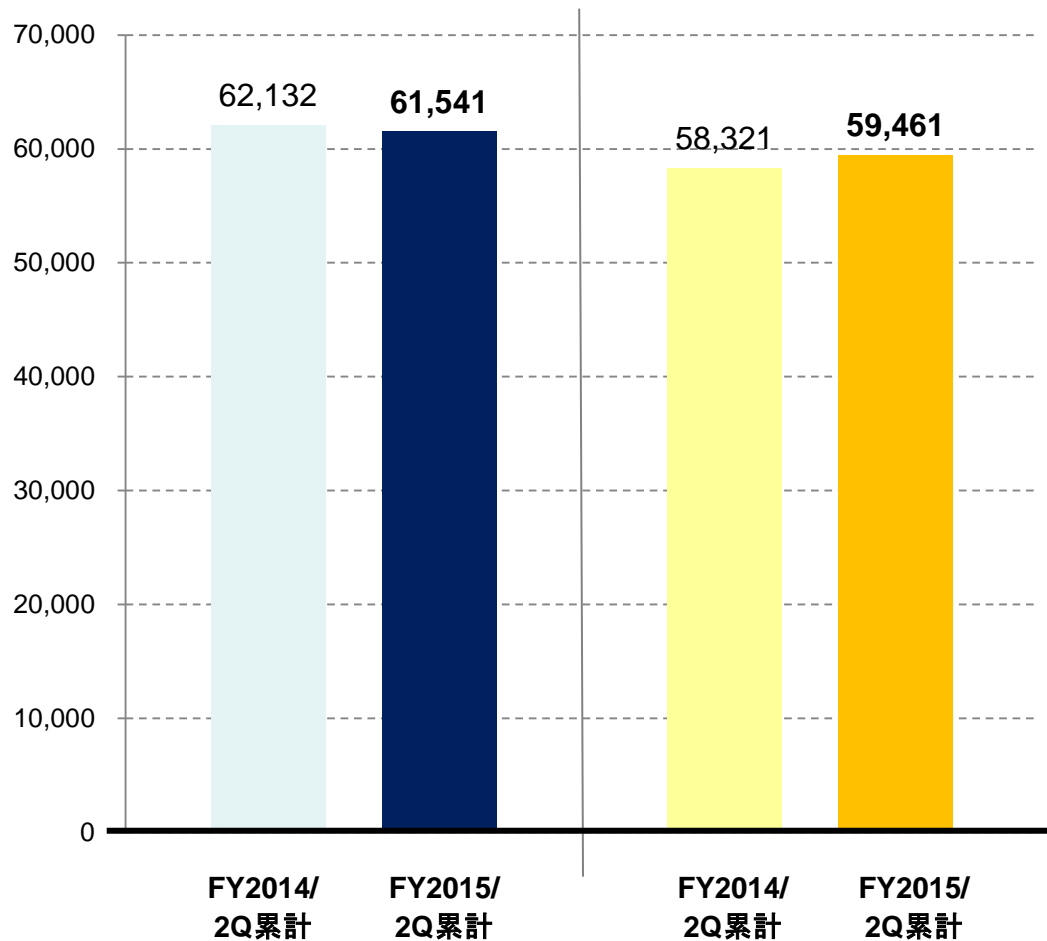
有料多チャンネル事業の業績概況：前年同期比

有料多チャンネル事業

(単位：百万円)

営業収益

営業費用



営業収益(▲5.9億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- スカパー！業務手数料収入増加：+6億円
- 標準画質サービス業務手数料収入及び送信料収入減少：▲5億円
- プレミアムサービス視聴料収入の減少：▲10億円

営業費用(+11.3億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- コンテンツ費用の増加：+27億円
- H.264への移行費用の減少：▲6億円
- その他費用の減少：▲10億円

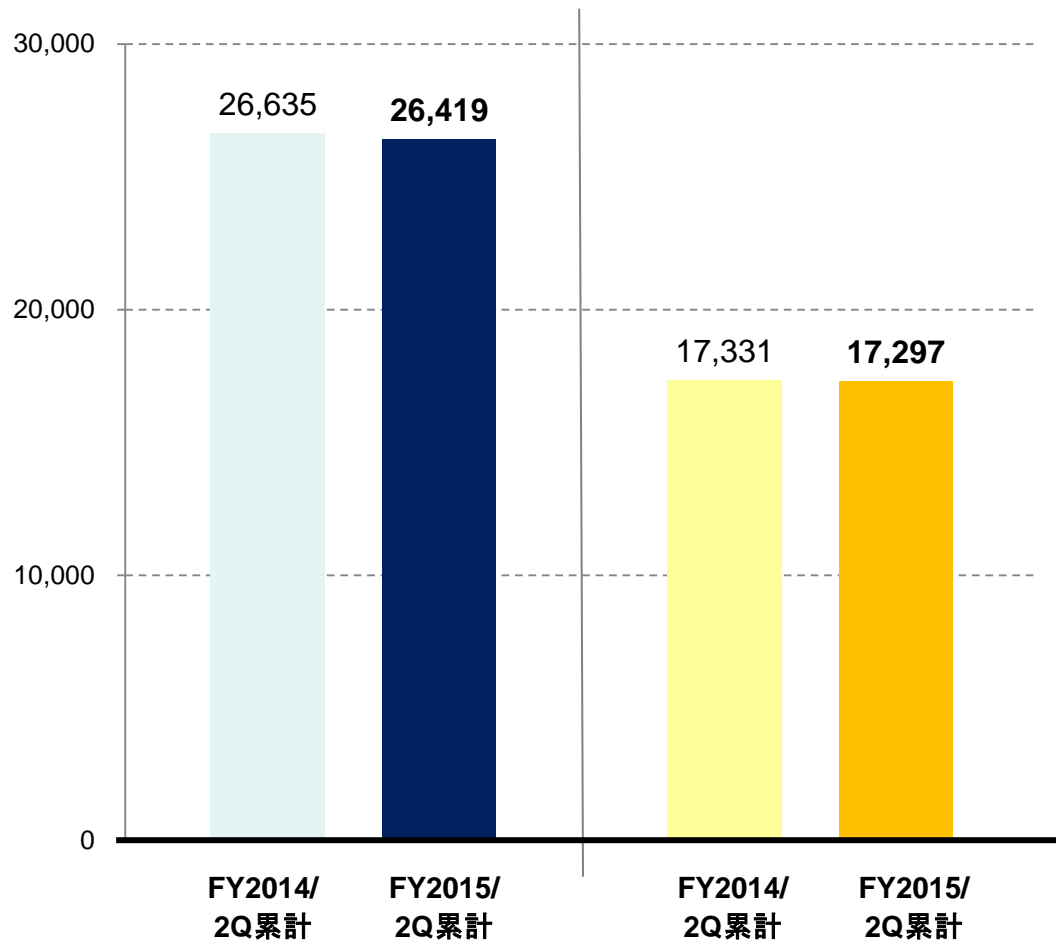
宇宙・衛星事業の業績概況：前年同期比

宇宙・衛星事業

(単位：百万円)

営業収益

営業費用



営業収益(▲2.1億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- 標準画質向け放送トランスポンダ収入の減少：▲14億円
- 放送トランスポンダ収入の増加：+4億円
- 船舶向けインターネットサービス収入の増加：+6億円

営業費用(▲0.3億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- 大きな変動要因なし

コーポレートガバナンス報告書の提出

- 2015年11月5日、東京証券取引所にコーポレートガバナンス報告書を提出
- 以下2原則を除き、全て実施(comply)

補充原則3-1(v) (情報開示の充実 経営陣幹部の選任と取締役・監査役候補の指名方針と手続き)

経営陣幹部の選任と取締役・監査役候補の選任・指名理由

社外取締役、社外監査役候補者の選任にあたっては、株主総会招集ご通知参考書類に選任理由、経歴を記載し、株主総会にてお諮りしておりますが、今後はすべての取締役、監査役の選任理由を記載いたします。

補充原則4-11-3 (取締役会の実効性評価)

現在は取締役会全体の実効性について分析・評価を行っておりませんが、今後は各取締役による自己評価を通じた取締役会の分析・評価を毎年実施し、取締役会がより実効的に機能するよう運営方法等の見直しを行うことといたします。2015年度分の分析・評価結果は2016年6月に開示する予定です。

今後の取り組み
～有料多チャンネル事業～

スカパー！の強みを活かした差別化戦略の継続推進

■ 施策1： 独占コンテンツによる契約者拡大

- ✓ ポール・マッカートニー武道館LIVEを独占放送
- ✓ オリジナルドラマ第三弾として、大人気漫画「アカギ」をドラマ化



© 2015 MPL Communications / MJ Kim



(c) 福本伸行/竹書房

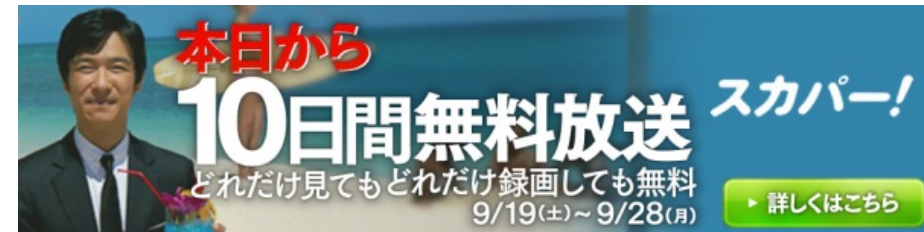
■ 施策2： 生中継スポーツコンテンツによる契約者拡大

- ✓ ラグビーW杯 全48試合生中継。
- ✓ 海外サッカー各リーグ、及びUEFAチャンピオンズリーグ開幕



写真: アフロ

■ 施策3： 10日間無料放送による契約者拡大



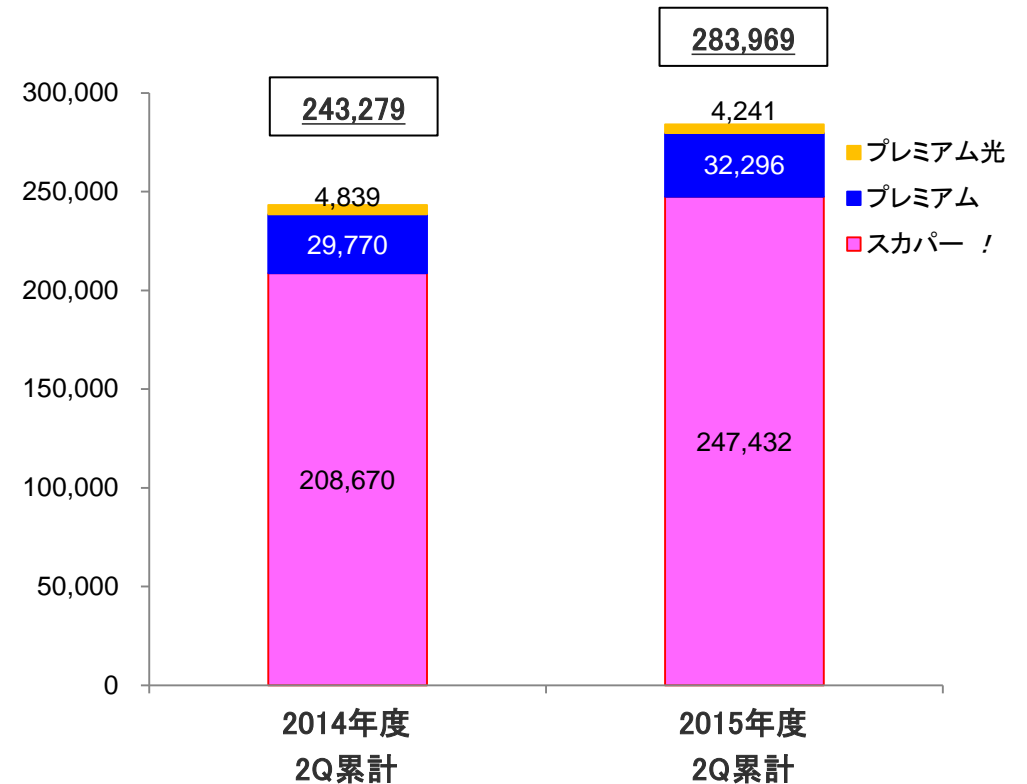
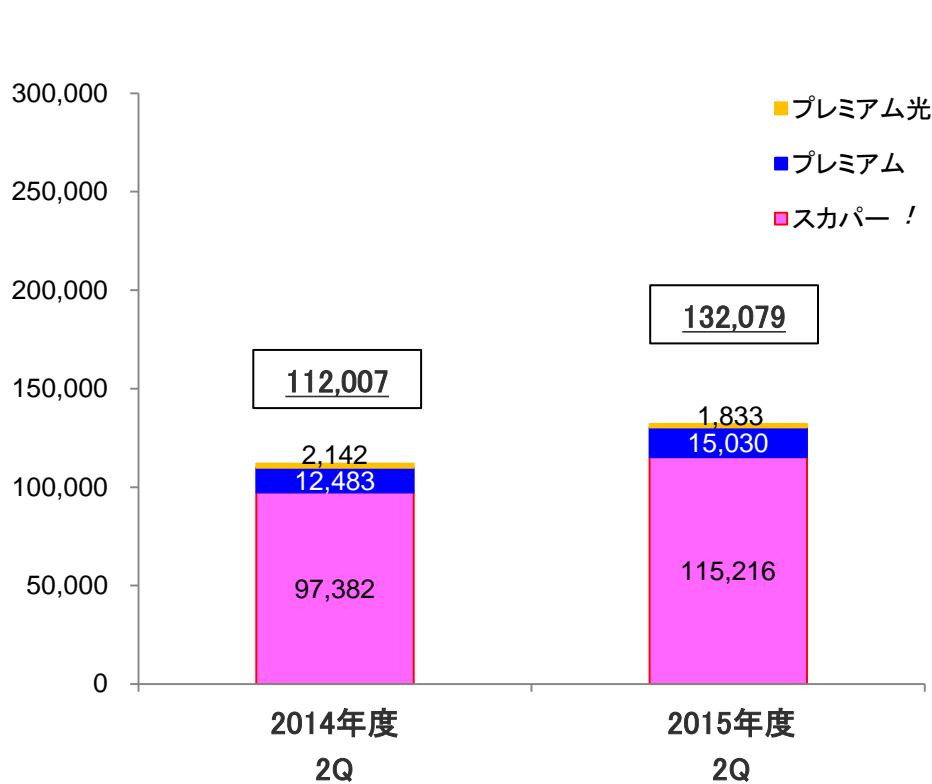
2015年度2Q施策効果

新規・再加入件数は2014年度2Q実績を上回り、2Q累計実績も前年超え

■ 新規・再加入 件数実績

✓ 2015年度2Q: 132,079件 (前年比+20,072件)

✓ 2015年度2Q累計: 283,969件 (前年比+40,690件)



コンテンツによる差別化

オリジナルコンテンツや話題コンテンツで差別化を継続推進

目玉コンテンツ

①オリジナル時代劇



©2015時代劇専門チャンネル/スカパー！/松竹

10月:第1弾「果たし合い」
(主演:仲代達也/BSスカパー！)



©2015時代劇専門チャンネル/松竹

11月 第2弾「遅いしあわせ」
(主演:壇れい/時代劇専門チャンネル)

②スポーツ



©2015, JRFU Photo by S.IDA

ラグビートップリーグ
スーパーラグビー
(J SPORTS)



photo: Getty Images

ATPテニス ワールドツアー
マスターズ1000
(GAORA SPORTS)

③アニメ



©創通・サンライズ

「機動戦士ガンダム THE ORIGIN II」
スカパー！オンデマンド独占先行試写会
&
「機動戦士ガンダム THE ORIGIN I」
TV放送

4Kコンテンツ

〔スカパー！4K総合〕



(C)公益財団法人 日本オリンピック委員会

市川崑監督「東京オリンピック」
(4Kデジタル修復版)



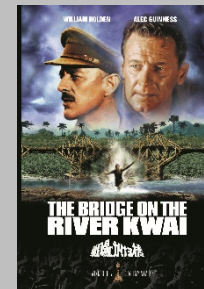
久保田利伸
「TOSHINOBU KUBOTA CONCERT
TOUR 2015 “L.O.K Supa Dupa”」



(c) Copyright MMXV by Journey to Space L.L.C. All Rights Reserved

海外ドキュメンタリー
「Journey to Space」

〔スカパー！4K映画〕



© 1957, renewed 1985
Columbia Pictures
Industries, Inc.
All Rights Reserved.

戦場にかける橋

TVサービスと連動した取り組みにより、順調な伸びを維持

■ スカパー！オンデマンド累計登録者数

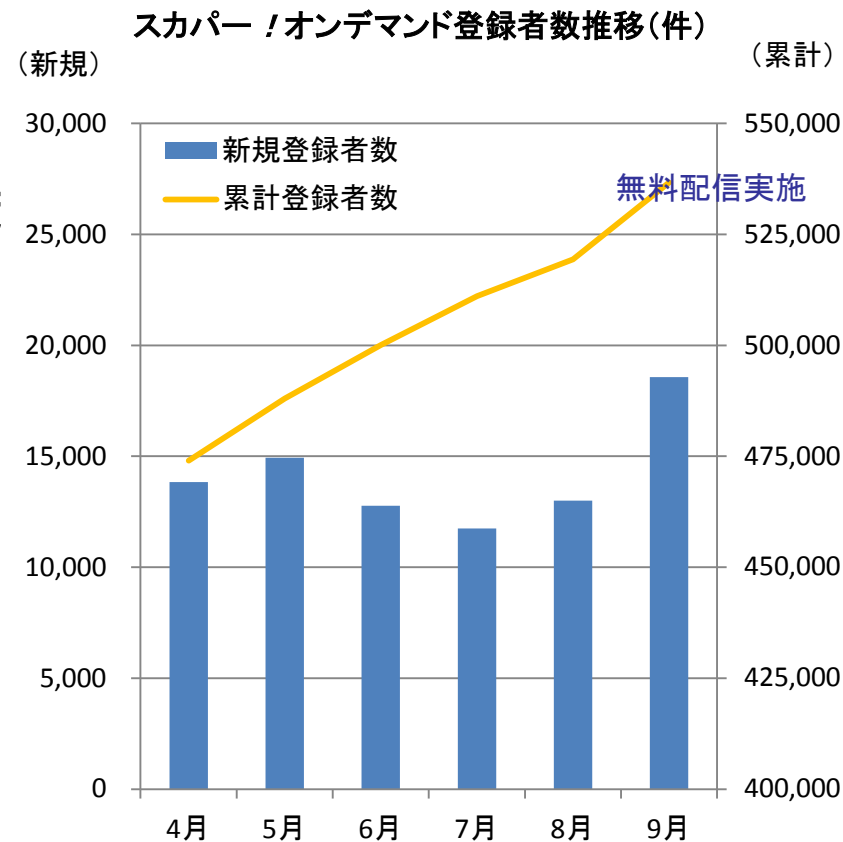
2015年9月末時点 536,651件

■ TVサービス10日間無料放送と連動した無料配信施策

10日間無料放送にあわせて、オンデマンドでも無料配信を実施。
オンデマンドサービス初のTVCM訴求も行い、登録者数が伸張



■ 今後は放送とのサイマル視聴チャンネルを更に拡大

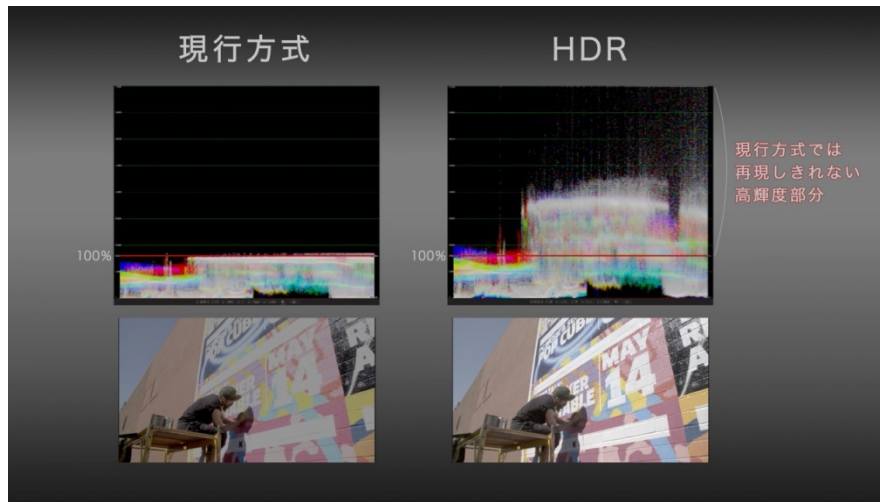


4K放送に加え、HDR放送にも取り組み、更なる高画質化を推進

■ HDR(High Dynamic Range)とは

- ハイビジョン等、現行放送のダイナミックレンジ(明るい部分と暗い部分の明るさの対比)よりも広く撮影・記録・再生できる映像技術。
- 視覚眼のダイナミックレンジに近くなるため、今までより自然で臨場感のある映像が期待できる。

■ダイナミックレンジの比較



■明部をリアルに再現



■自然光の明暗を再現

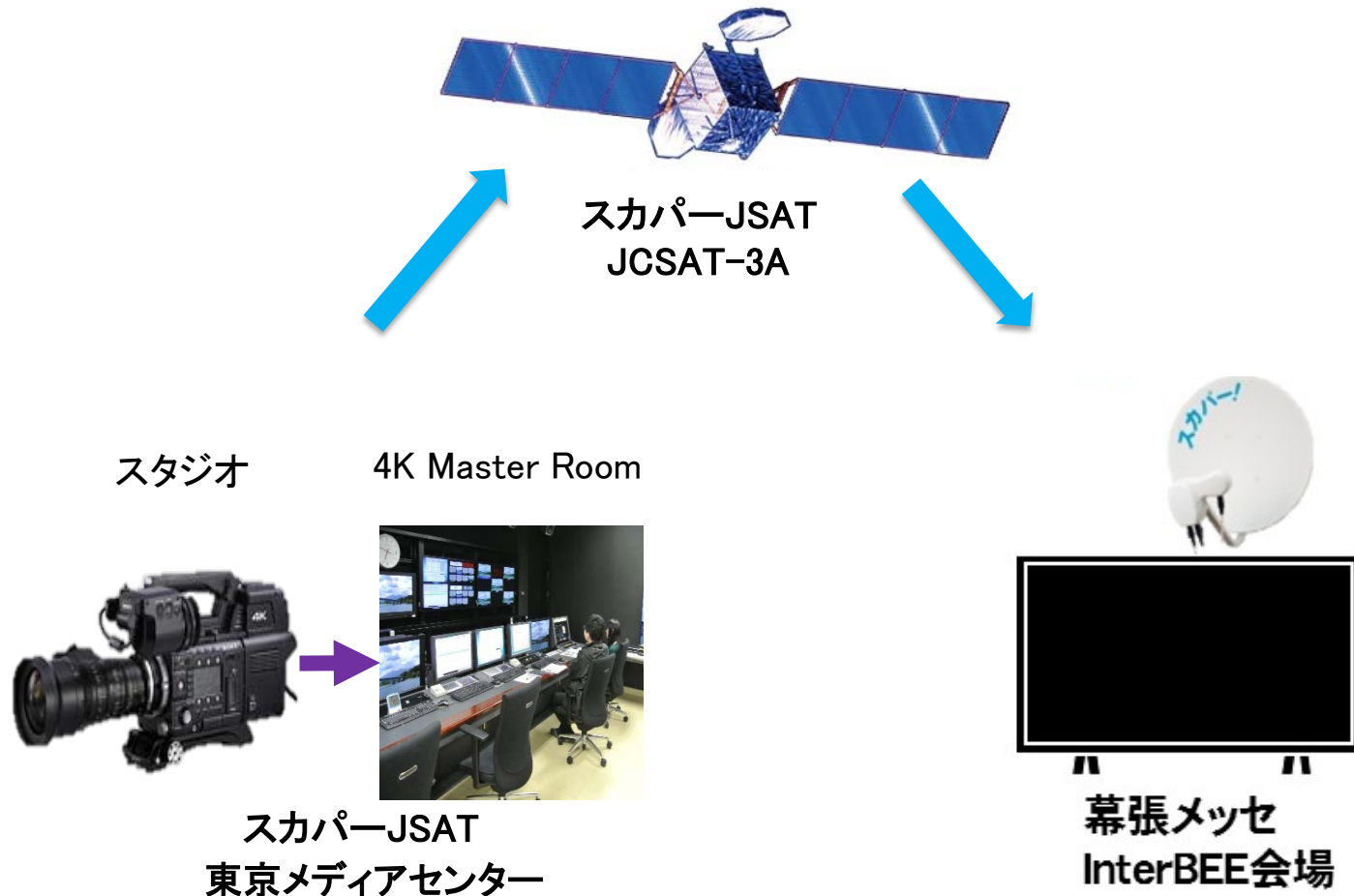


■音楽ライブの照明をリアルに再現



InterBEE2015において4K HDR映像伝送デモを実施

- 2015年11月18日(水)～11月20日(金) 配信時間 9:00～17:00



日本の魅力を紹介する独自番組による海外コンテンツ競争力強化

■ 10月31日(土)よりオリジナル番組「QUIZ SURPRISE!! JAPAN」を放送開始

✓ 番組内容

- 日本の観光スポットをテーマとしたクイズ番組。優勝賞品は日本旅行。「浅草」「富士山」「京都」「大阪」「秋葉原」など日本全国の観光地を紹介
- 放送日時： 毎週(土)20:00~21:00



<番組ロゴ>



<スタジオセットイメージ>

✓ インドネシア最大手プラットフォームIndovisionとの連携プロモーション実施

- Indovision 21周年イベント' Simply Number One' にて、QUIZ SURPRISE!! JAPAN公開予選会実施
- Indovision 会報誌でQUIZ SURPRISE!! JAPANを訴求



<Indovision 会報誌>

開局情報

7月6日よりシンガポールのIPTVサービス「Singtel TV」で放送開始

Singtel TVとは？

アジアの大手通信会社Singtel TVが提供するIPTVサービスで170以上のチャンネルを放送。毎年加入者を増やしており、現在では約42万世帯が加入。WAKUWAKU JAPANはその中でも多くの方が加入しているベーシックパックで視聴可能。

今後の取り組み
～宇宙・衛星事業～

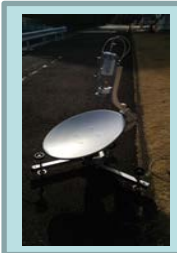
国内市場への取り組み

■ 大規模地震時の医療サービスにおける活用

2015年9月1日に厚生労働省DMAT(災害派遣医療チーム)事務局主催により実施された“平成27年度政府総合防災訓練における大規模地震時医療活動訓練”に参加。

- ・ 大規模災害発生時の地上通信回線輻輳環境を想定し、各社協力のもと、“ExBirdサービス”を用いたEMIS(広域災害・救急医療情報システム)との連携の有用性を確認。
- ・ 10月20日からは、関係機関と共に地域災害医療に最適な衛星通信システムの開発と運用に関する研究・検証を開始し、災害医療分野での更なる活用を目指す。

■東京女子医科大東医療センター
手動捕捉型可搬局
(日本アンテナ様)



■自衛隊中央病院
自動捕捉型可搬局
(三菱電機様)



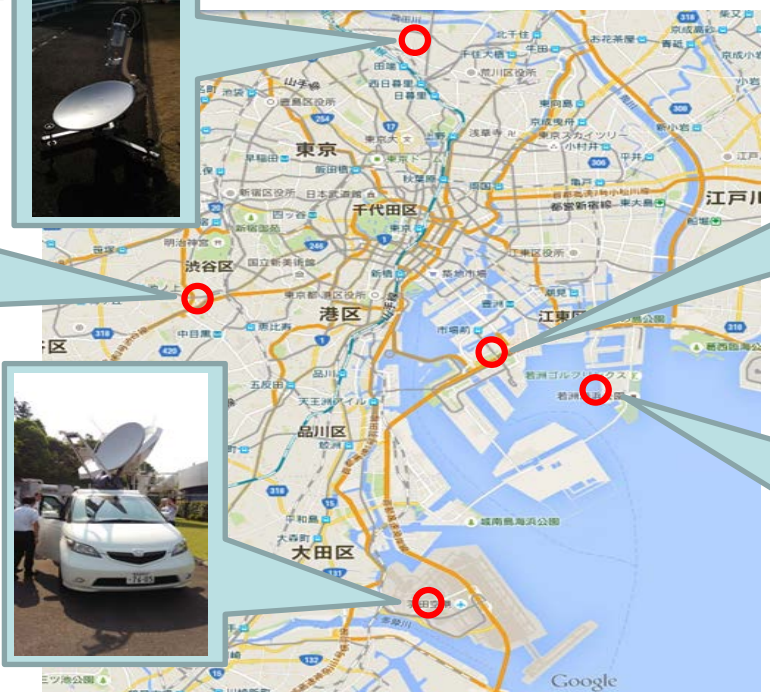
■羽田空港
自動捕捉型車載局
(C-COM様)



■有明の丘
手動捕捉型可搬局
(東芝様)



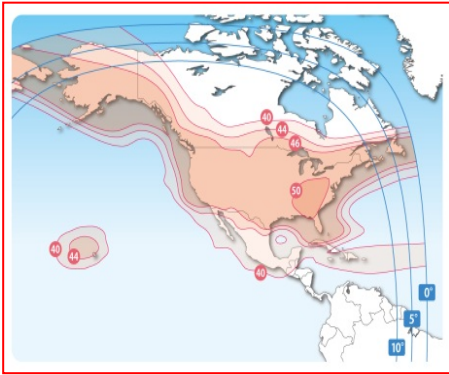
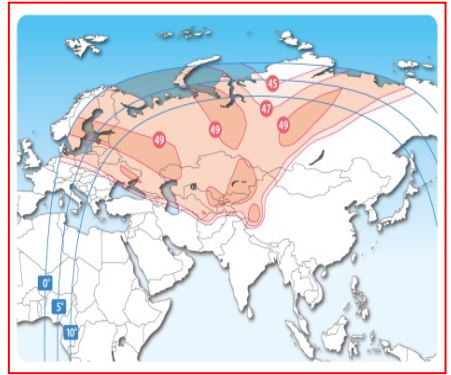
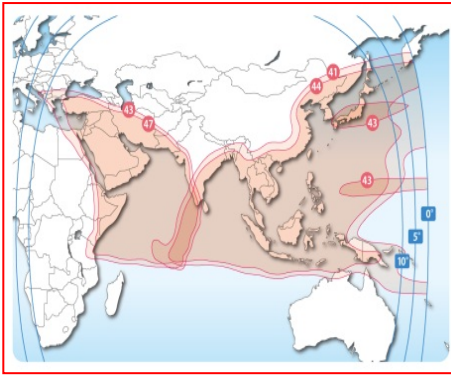
■護衛艦いずも
自動捕捉型車載局
(日本無線製様)



グローバル市場への取り組み ①

■ Intelsat社と新たな共同衛星事業及び衛星(『Horizons 3e』)の共同調達を決定

✓ これまでのIntelsat社との共同衛星事業

	Horizons-1	Horizons-2	JCSAT-85
軌道位置	西経127度	東経85度	東経85度
打ち上げ日	2003年9月30日	2007年12月21日	2009年12月1日
主要顧客/アプリケーション	政府、VSAT、その他	DTH	政府、移動体、その他
カバレッジ			

✓ Horizons 3eの軌道位置

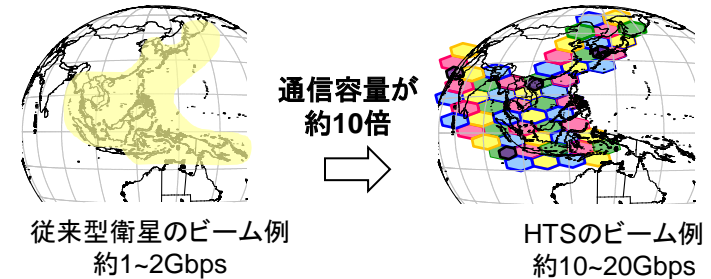
- 東経169度という軌道位置は、太平洋のみならず北米西海岸からアジア地域を広くカバー可能

グローバル市場への取り組み ②

- ✓ 『Horizons 3e』は当社として初めてのHTS

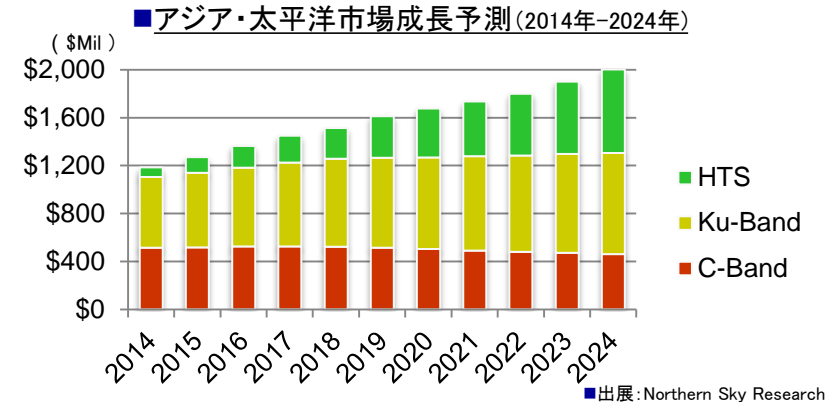
従来型衛星とHTS(High Throughput Satellite)の違い

HTSでは、隣り合うスポットビームにおいて異なる周波数を用いるとともに、隣接していないスポットビームでは同じ周波数を繰り返し利用することにより、周波数利用の高効率化が可能となる。それにより、従来の衛星と比較した場合、約10倍の通信容量が提供可能。



- ✓ 想定マーケット

- 政府、移動体や基幹回線等への利用を見込む
- 今後も増加を見込むアジア・太平洋地域の衛星通信需要には、HTSで対応



- ✓ 打ち上げ時期は、2018年下期を予定

低軌道・(超)小型衛星ビジネスへの取り組み ①

■ 世界市場の動向

世界市場においては、衛星事業者のみならず異業種プレーヤーも参入している。

地球観測分野

(米) Skybox Imaging

- 小型地球観測衛星SkySat(約110kg)を2018年までに20機程度打ち上げ、高分解能画像 (<1m) 及び動画を高頻度で取得する計画。
- 2014年6月にGoogleが同社を5億ドルで買収。

(米) Planet Labs

- 超小型衛星で約3m分解能の画像を高頻度で取得。
- 2015年末時点で50機、2016年3Q時点で150機の衛星が稼働予定。

(日) アクセルスペース

- 東京大学発の商用小型衛星ベンチャー企業。
- 複数の超小型衛星によるリアルタイム地球観測網の構築を計画。

通信分野

(米) One Web

- 約700個の小型衛星を低軌道にて運用することで、地球規模の高速通信網を構築することを計画。
- プロジェクト費用は15億~20億ドルを見込み、米クアルコムと英ヴァージン・ギャラクティックも出資。
- Kuバンドで、125kg程度の小型衛星による大規模な衛星コンステレーションを構築予定。

(米) SPACE X 社のプロジェクト

- 約4,000機の小型衛星を低軌道に打ち上げ、それらを連携させ、地球規模の高速通信網を構築することを計画。
- 同社は、Google等から10億ドルの資金を調達。

低軌道・(超)小型衛星ビジネスへの取り組み ②

■ 当社の取り組みと現状

✓ アクセルスペース社への出資

- 2015年9月に同社への出資と併せ運用に関する協業の業務提携を締結。
(三井物産やSBIグループ等も出資。)
- 複数の超小型地球観測衛星(GRUS)によるリアルタイム地球観測網の構築を計画しており、2017年に最初の3機を打ち上げ予定。



アクセルスペース社
超小型地球観測衛星
「GRUS」

✓ 当社グループの衛星ネットワークの取り組み

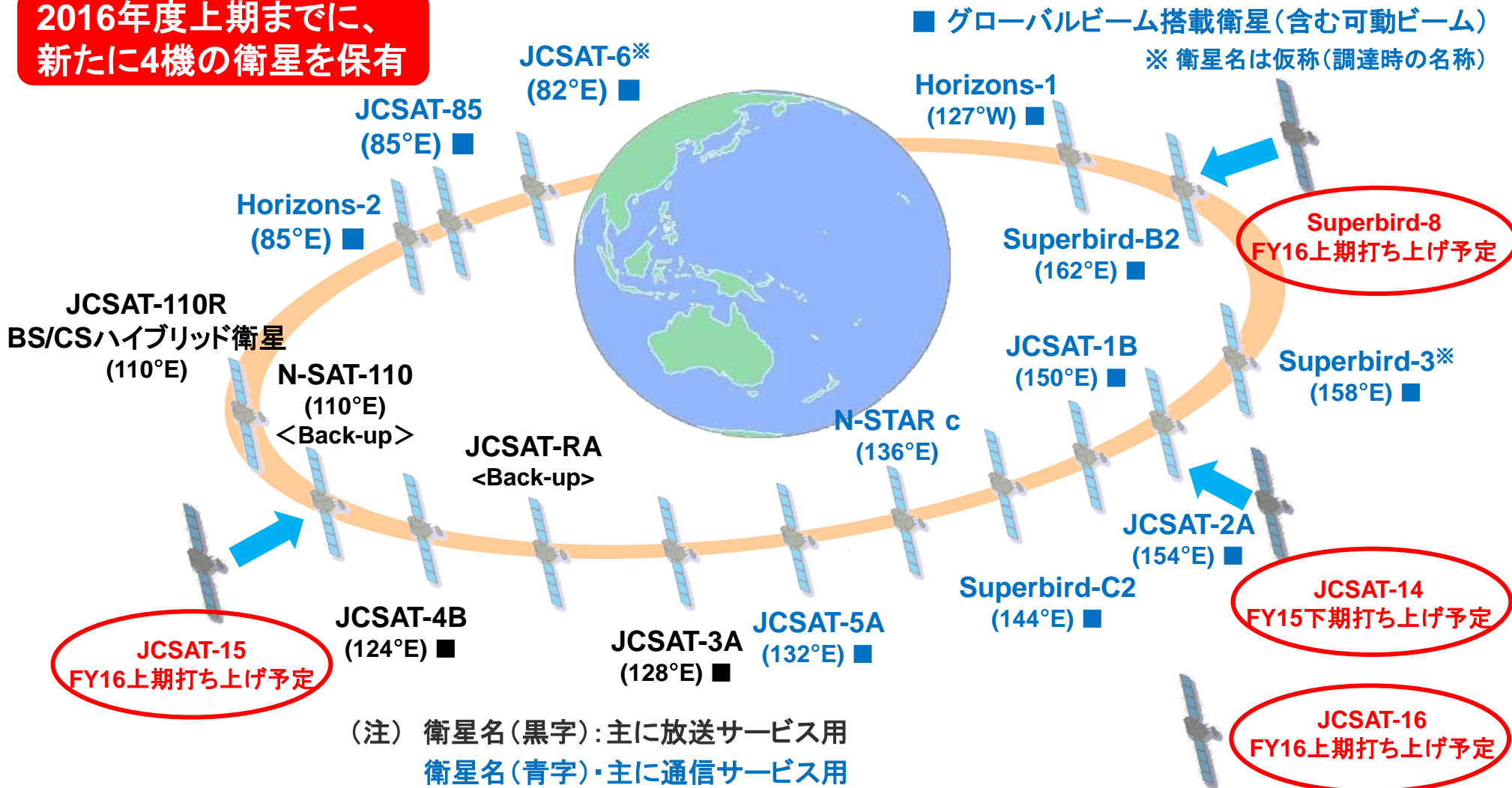
- (米)Planet Labs社から衛星画像販売権取得し、地球観測画像の日本国内における販売を開始。
- 同社とは潜在顧客に対する期間限定の独占契約を締結。
150機の小型衛星により、全球を1日に1~2回撮影し、
撮影後約8時間~24時間の画像を利用することが可能。
- 1日に100万枚以上撮影される衛星画像から機械学習により
変化のみを1秒以下で抽出する最新技術を開発中。
2016年度からの実用化を目指す。



Planet Labs社
小型衛星

北米上空からインド洋上空まで計16機の衛星を保有

2016年度上期までに、
新たに4機の衛星を保有

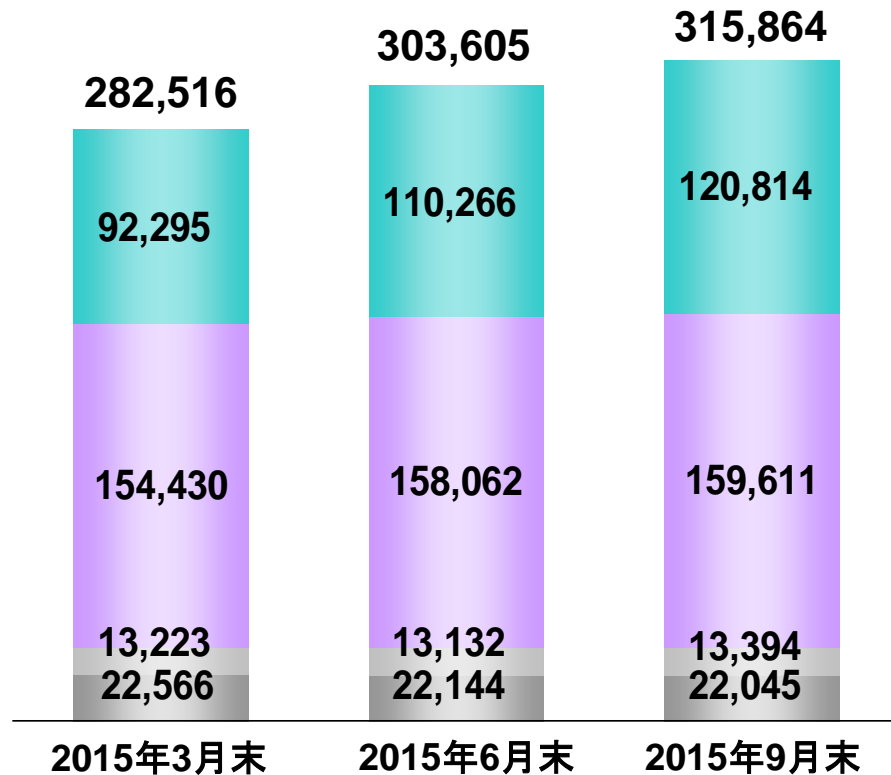


(参考資料)

連結貸借対照表

資産

(単位:百万円)



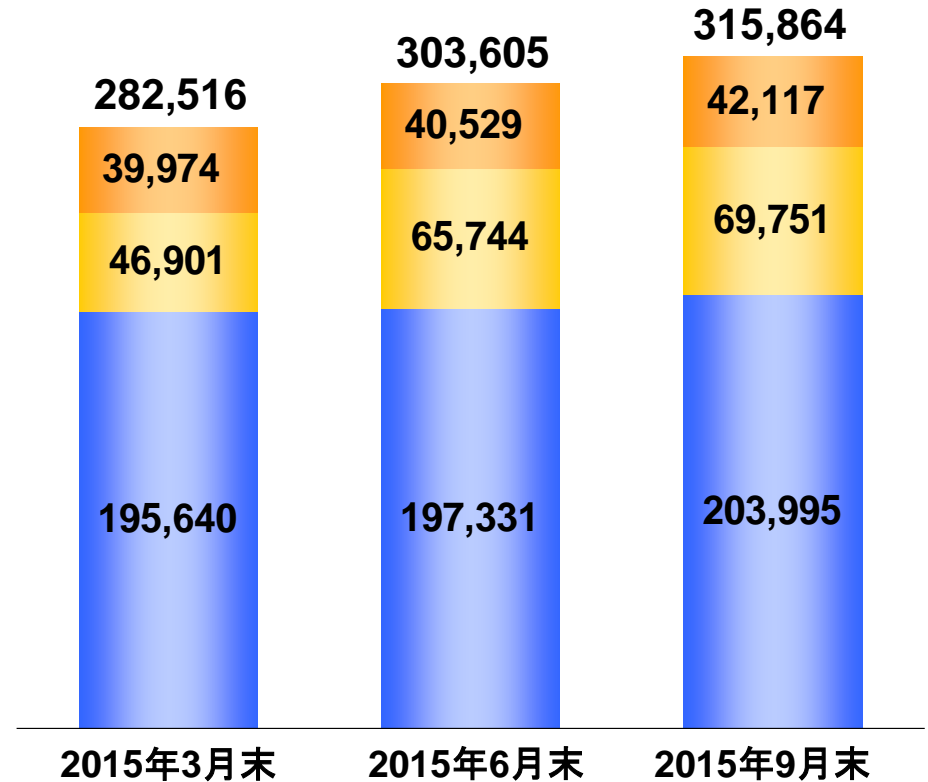
負債・純資産

(単位:百万円)

自己資本比率:69.2%

自己資本比率:64.9%

自己資本比率:63.2%



■ 流動資産
 ■ 有形固定資産
 ■ 無形固定資産
 ■ 投資その他資産
 ■ 流動負債
 ■ 固定負債
 ■ 純資産

連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

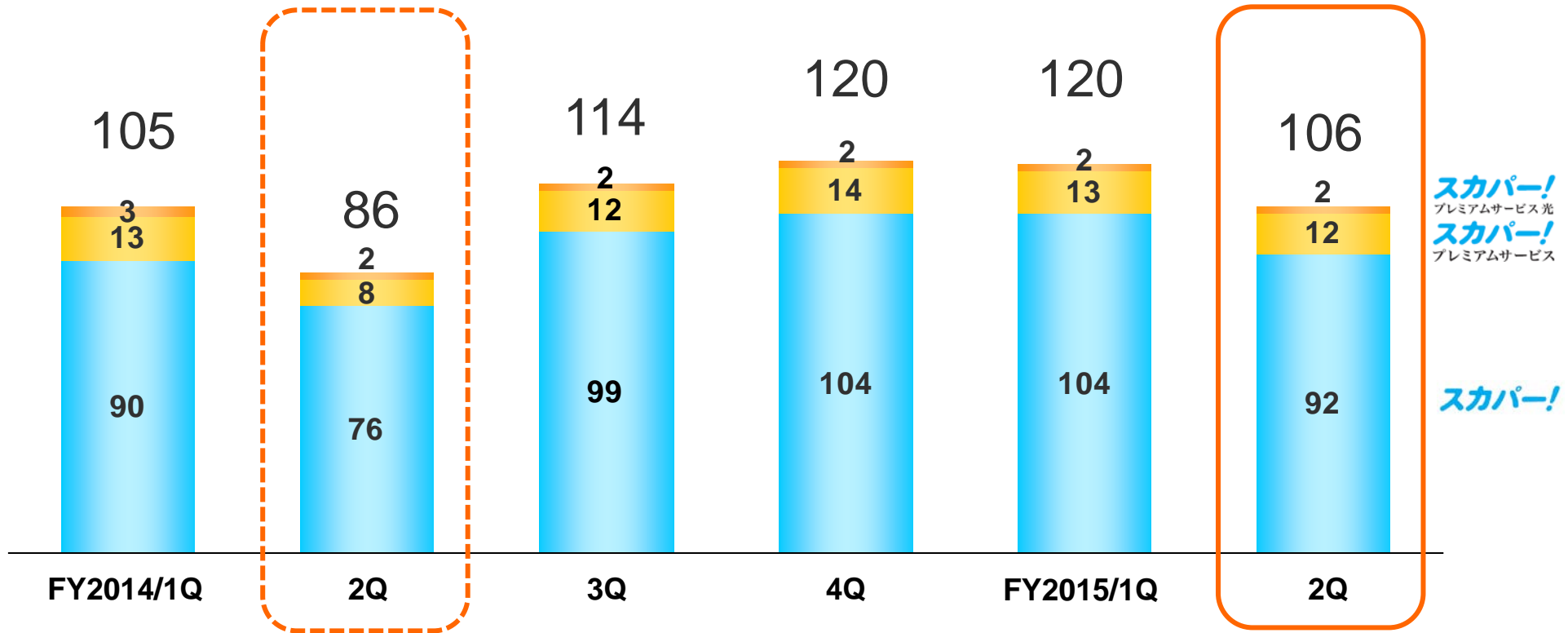
	FY2013/2Q 累計	FY2014/2Q 累計	FY2015/2Q 累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,760	11,365	14,069
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,221	△13,212	△16,470
フリー・キャッシュフロー (*1)	14,538	△1,846	△2,401
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,871	△11,545	25,541
現金及び現金同等物の期末残高(a)	86,392	50,334	57,174
有利子負債期末残高 (*2) (b)	50,740	36,827	61,721
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	△35,651	△13,506	4,547

*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

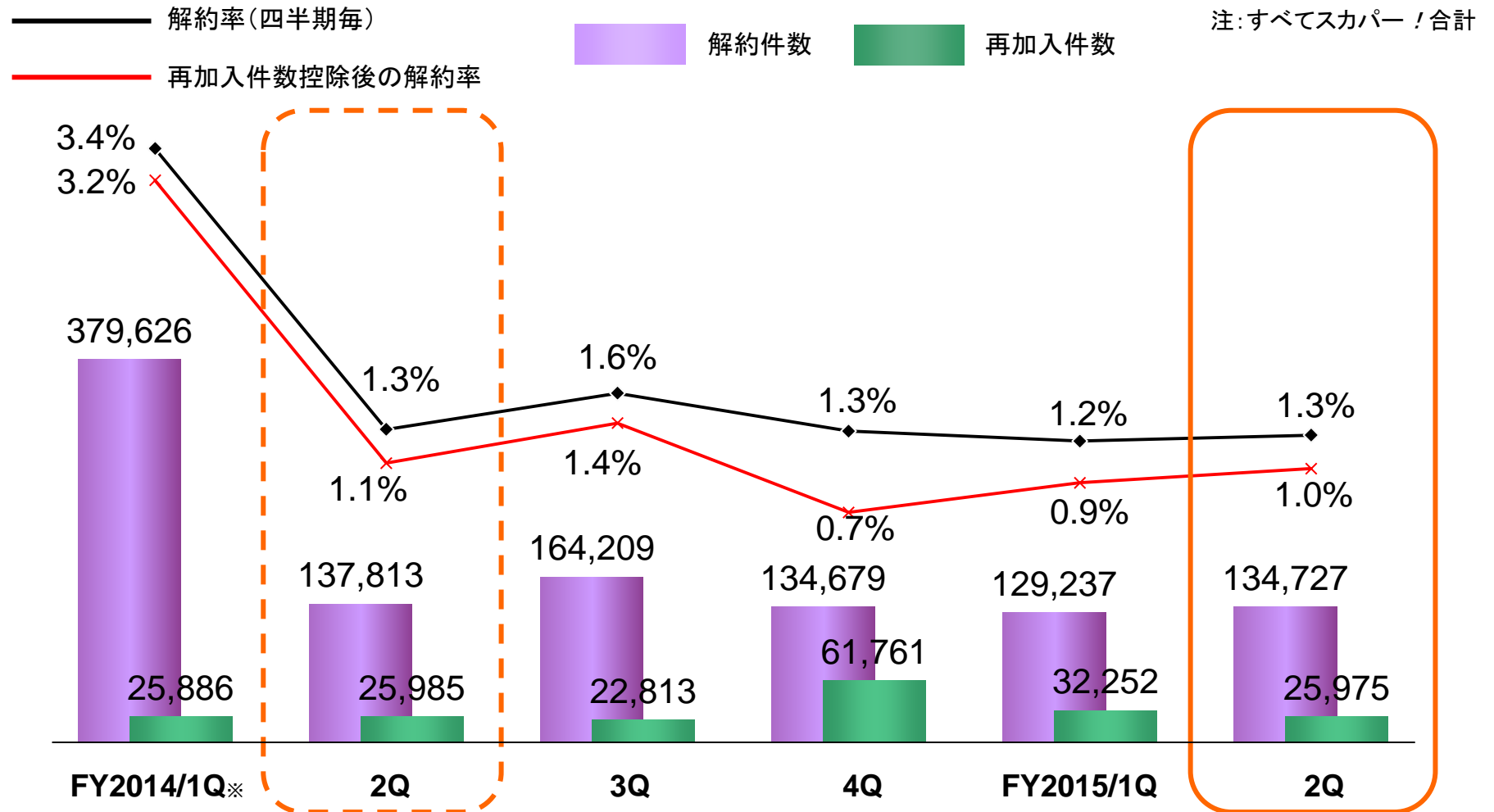
*2. 借入金＋無担保社債

新規加入件数の推移

(単位:千件)

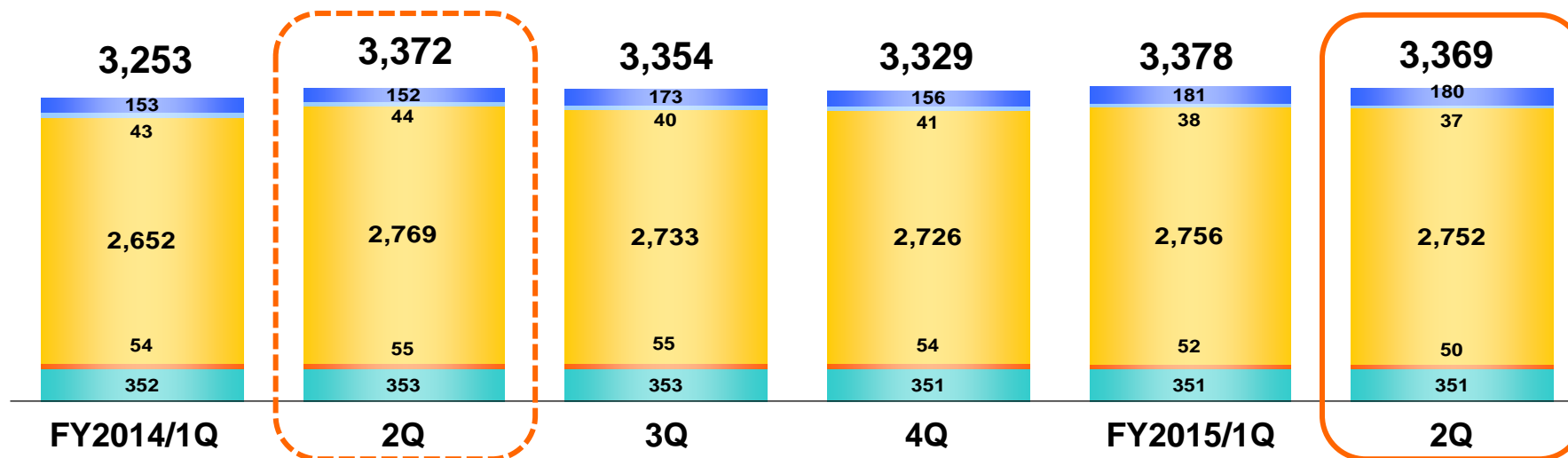


解約率の推移

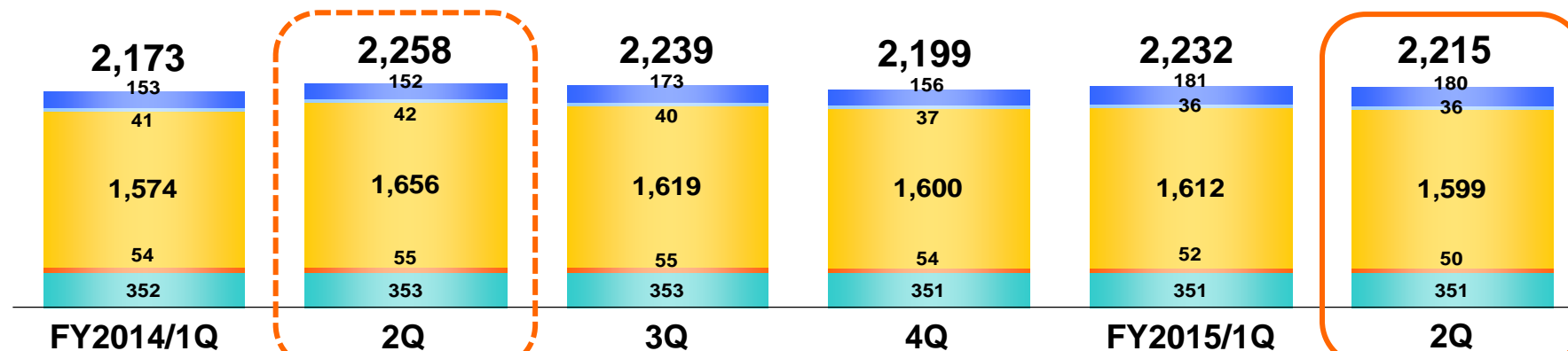


※:FY2014/1Qの解約件数、平均月次解約率、再加入件数控除後の解約率が大きい理由は、2014年5月末の標準画質サービス終了に伴う解約を含むためです。

■ 加入者支払単価(¥) (*1)



■ ARPU(¥) (*2)



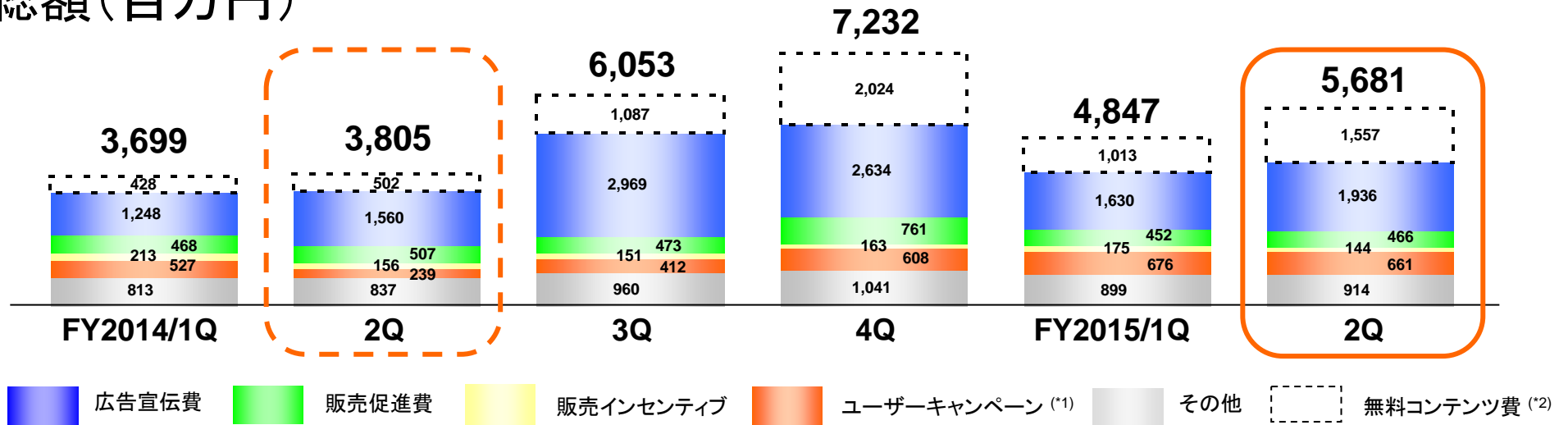
■ 基本料/件
 ■ レンタル会費/件
 ■ フラット視聴料/件
 ■ PPV視聴料/件
 ■ 自主コンテンツ収入/件

*1. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価

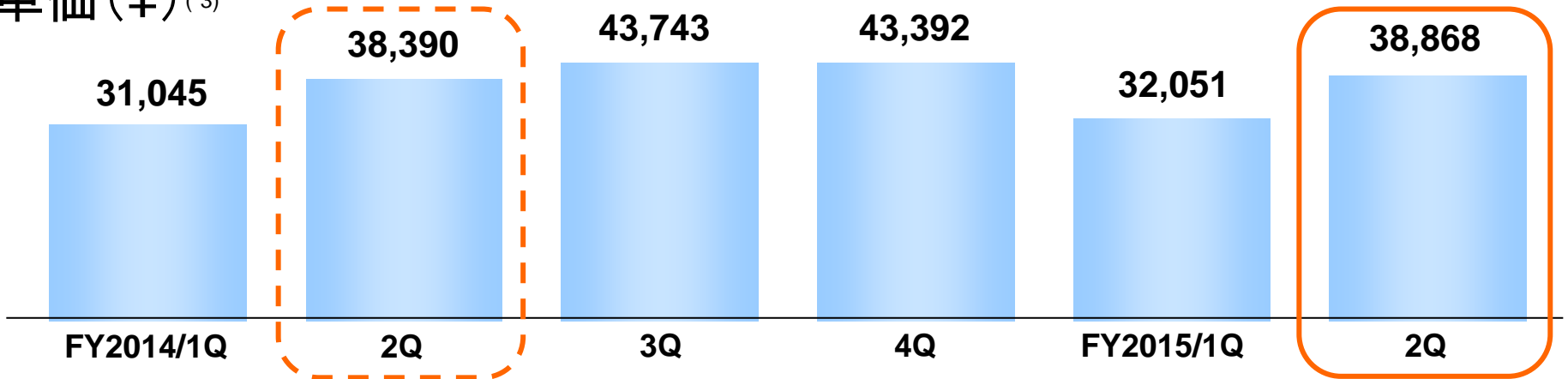
*2. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価の内、当社グループの営業収益として計上する金額

顧客獲得費用(SAC)

■ 総額(百万円)



■ 単価(¥) (*3)



*1. 各種顧客獲得キャンペーンに係る費用

*2. 「無料コンテンツ費」は、BSスカパー！の番組制作費等を含む。

*3. SAC単価は、SAC総額(ただし「無料コンテンツ費」は除く)を対象期間の新規加入件数で割った数値

子会社業績

(単位:百万円)

		SJC	SPCC	SPBC	SNET	JII	JMC
事業内容		放送プラットフォーム、衛星通信	顧客管理	放送事業	衛星通信回線再販等	衛星通信回線販売	衛星移動通信サービス
保有割合(%)		100	100	100	92	100	53.3
営業収益	FY2014/2Q	64,332	3,741	33,762	1,877	1,293	1,145
	FY2015/2Q	64,779	3,614	33,405	2,189	1,168	1,521
営業利益	FY2014/2Q	11,883	312	788	135	599	89
	FY2015/2Q	10,775	303	803	144	362	207
経常利益	FY2014/2Q	11,954	314	790	128	604	96
	FY2015/2Q	10,928	305	807	153	369	221

SJC:スカパーJSAT株式会社

SPCC:株式会社スカパー・カスタマーリレーションズ

SPBC:株式会社スカパー・ブロードキャスティング

SNET:株式会社衛星ネットワーク

JII:JSAT International Inc.

JMC:JSAT MOBILE Communications株式会社

株式会社スカパーJSATホールディングス
広報・IR部